

平成30年度第2回合同会議における主な意見に対する取組方向

課 題		主 な 意 見	関 係 機 関	回 答 等
議事－(1) ヤクシカの生息状況等について	(1)ヤクシカの個体数、生息密度、捕獲状況、捕獲効率	河川界区分ごとの推定個体数の推移、捕獲頭数、生息密度分布図、CPUEを合わせて見ていくと傾向が読み取れ、それによって個体数の多いところにより捕獲圧がかけられているか河川界区分ごとに評価できる。	環境省 鹿児島県 林野庁 屋久島町	ご助言を踏まえ、関係機関が連携し対応して参りたい。
		①資料1-②のP.2の糞塊密度分布図は、平均糞塊密度の値と階級区分の値のバランスが悪いためP4の図の方がよいのでは。 ②捕獲頭数は年度別に見ていく必要があるのでは、数そのままの推移ではなく、何か単位を決めて指標にしてトレンドを示した方がよい。 ③捕獲を実施していない中央部に密度の減少が見られるのは何故なのか今後の課題として考えていく必要がある。	①②環境省 ③環境省 林野庁 鹿児島県	①P2とP4の図は、階級区分は同じで、P4はコントラストが出るよう色分けを変えているだけなので、今後はこちらを採用するようにしたい。 ②ご助言を踏まえ、関係機関で検討して参りたい ③ご助言を踏まえ検討して参りたい。
		誘引するときに最初からワナを同時に設置すると、警戒心強いシカを生み出す可能性があるのでは、誘因期間とワナの稼働期間は分けた方がよい。	林野庁	ご助言を踏まえ、検討して参りたい。
	(2)ヤクシカによる植生被害及び回復状況	植生の回復状況を調べる際には、劣化の大きさを考慮した植生の再生に向けた調査が必要である。	環境省	ご助言を踏まえ、対応して参りたい。
議事－(2) 平成30年度及び平成31年度の取組について	(1)シャープシューティングによる計画捕獲導入評価	シャープシューティングというやり方で最終的にどういう状況を作りたいかというのをまず論議する必要がある、富士山国有林の事例は参考になる。	環境省	ご助言を踏まえ、対応して参りたい。
	(2)西部地区の対策	①西部地域は大きく半山、川原、瀬切に分かれる。密度操作実験計画の取組については川原から瀬切への変更を考えているとの話だが、半山は今のまま手をつけず、川原では植生回復のため防除柵をつけるなどしたらどうか。 ②壊れない柵にするには、大きい柵を1つ作るより小さい柵を複数群状に配置して植生回復を図る方が有効では。	環境省	①地域や研究者の方々からもご意見などあると思われるため、それも踏まえながら、検討して参りたい。 ②管理がきちんとできるかどうかというところが重要と思われるため、その点も踏まえて検討してまいりたい。
	(3)ヤクシカの行動圏	ヤクシカの動きをしっかりと理解することが重要なので、GPS首輪による調査の継続は重要である。	環境省 林野庁	ご助言を踏まえ、可能な範囲で対応して参りたい。
		奥岳での行動調査の結果はとても重要なため、労力は大変かかるが、今後もぜひ努力頂きたい。	環境省	ご助言を踏まえ、可能な範囲で対応して参りたい。
	(4)委託調査(九州局)の取組概要	①カメラトラップについて林道沿いや道下は上の部分より密度が高いのが明らかで、その点を注意してデータを使って頂きたい。 ②設置箇所は国有林と民有林の境目になり設置環境の解釈が難しいため、結果をどう使用するか注意が必要である。	林野庁	ご助言を参考に、相談させて頂きながら対応して参りたい。

課 題		主 な 意 見	関 係 機 関	回 答 等
議事－(3) 森林生態系 の管理目標 について	(1)嗜好性植物種の選 定案	嗜好性植物種の選定案についてヒロハノコギリシダはシカの密度が少 ないところでは食べられていないので嗜好性が特に高いわけではな い。またアカガシを追加したらどうか。	屋久島町 環境省 鹿児島県 林野庁	ご助言を踏まえ、対応して参りたい。
	(2)管理目標と捕獲と の関係	目標達成状況の確認実施地域と現在の捕獲地域は異なるため、この 目標ができた後は、その結果を見て、ここで捕獲しようという形に移行 していく必要がある。捕獲効果の評価に植生が出てきたのはよいと思 うが、捕獲地域について課題が出てきた。		ご助言を踏まえ、関係機関が連携し対 応して参りたい。
	(3)記載の仕方	①植生への影響についてはヤクシカの問題と単純に記載するのでは なく、ヤクシカの個体数が過剰に多いことが問題であるとしてしっかり記載 する必要がある。 ②植生の回復については種により異なるものもあるため、既にある程 度の回復しているものがあれば、その情報や回復状況がわかるような 記述がほしい。 ③柵を囲ったデータはもっとあるほか、管理の効果がきちんと測れる ことを記載した方がよい。		ご助言を踏まえ、対応して参りたい。
	(4)特定計画と森林生 態系管理目標の関係	第二種特定鳥獣(ヤクシカ)管理計画と森林生態系管理目標がどう噛 み合うのかももう少し詰める必要がある。		ご助言を踏まえ、関係機関が連携し対 応して参りたい。
	(5)目標達成状況の確 認地域(モニタリング 地域)	①一湊川流域や梶川流域はホットスポットのため、モニタリング場所と して含めることを検討頂きたい。 ②嗜好性植物種の更新と絶滅危惧種についてはどこでモニタリングし ていくかの整理が必要。		ご助言を踏まえ、関係機関が連携し対 応して参りたい。
	(6)目標達成期間	この目標はどのくらいの期間で達成するのか。どの段階で目標期間を 決めるのか。		委員会のご意見を踏まえ、検討して参り たい。
	(7)その他	絶滅危惧種の保全の観点からは標高の高いところに柵を増やす必要 がある。		ご助言を踏まえ、可能な範囲で対応して 参りたい。